

# HEAD LINE

- 公明党議長 太田昭宏さん ..... 1
- 主税局長に聞く 都税収入の確保に全力 ..... 4
- 東京ゆるキャラ図鑑 その1「東京愛らんどオールスターズ」 ..... 5
- 都民生活と都市活動を支える東京水道 ..... 6
- Town Topics<23区26市5町8村> ..... 8
- 大エルミタージュ美術館展 ..... 9
- 首都直下地震の被害想定見直し ..... 10
- 尖閣諸島購入問題の行方は? ..... 11
- 地域防災力向上を目指して2 前編 ..... 12
- 南町田自主防災組織(町田市) ..... 12
- 仕事に命を賭けてVol.47 ..... 13
- 海上保安庁第三管区海上保安本部 ..... 13
- わが社の環境戦略12 内田洋行 ..... 14
- NIPPON★世界一<技術・技能>49 川久保企画 ..... 16

# NEWS TOKYO

発行所/都政新聞株式会社  
 編集室 〒162-0041  
 東京都新宿区早稲田  
 麹町町308-3 スパイラル101  
 電話/03-5155-9215  
 発行人/平田 邦彦  
 編集主管/小林 明雄  
 編集人/津久井 美智江  
 購読料/1部150円(税込)  
 一般社団法人日本地方新聞協会正会員

都政新聞

東京の未来を考える、都民のためのクオリティ・ペーパー

第53号

新潟県中越地震の時も、能登半島地震の時も、昨年の中日本大震災の時も真っ先に現地に駆けつける現場主義者。議員バッジを失って2年9ヶ月、現場の声が国政に届いていないと、さぞ歯がゆい思いをされていることだろうと思ったら、現職時代とまったく変わらずご活躍の様子。公明党議長、太田昭宏さんに、政治家としての矜持をうかがった。

## 1 The Face

大衆の中に生き、大衆の中に死んでいく  
 党の精神のような人生でありたい



公明党議長 太田 昭宏さん



## 新聞でいえば、政治家の役割は、 凸版、主、袖3つの見出しをつけること

——前回の選挙から2年半ちょっと経ちましたが、その間はどんな活動をされていたのですか？

太田 選挙では落選という事になり、多くの方々に迷惑をおかけし、申し訳なく思っておりますが、公明党では全国の議長というポジションにありますので、提言をまとめて発表したり、選挙戦に赴いたり、この1年は東日本大震災の被災地に20回くらい足を運びました。行事も多く、地元の町会で挨拶をさせていたという歌を一曲歌ったり(笑)、先日は千代大龍という今度幕内に入った力士がいるんですが、地元足立

区の新田高校出身なので、その祝賀会に夜まで付き合ったりと、めちゃくちゃな動きをしています。党内でも政治でも現職時代とまったく変わりませんね。

——京都大学の相撲部の主将でいらっしやいましたか、今でも相撲はお好きなのですか。

太田 相撲はね、非常につながり深いんです。大相撲の人の付き合いも長いし、足立区には境川部屋や玉ノ井部屋があったりもしますのですね。先日モングルの会合があって出席し、時天空などにも会いまして。何にでも顔を突っ込んで何でもやるほうなんです。そうすれば人と人とのつなが

りも増えますからね。松下幸之助さんは「運」ということを強調されていますが、「運は信念である、信念あるところに呼び込まれる」、運は構えである、日々の努力である」と言っておられますが、もう一つ私が入っているのは「運は連鎖である」という言葉です。「運」というのは人と人との連鎖なんです。人が人を紹介してくる。仕事を頼みもし頼まれもする。

——都議会公明党の先生方の質問を聞いても、自分で現場を見たうえで、提案されています。現場に足を運んで、現場の声を聞くというのを大切にされているのですか。

太田 そうですね。バ



地元北区滝野川で行われた「新選組祭り」で挨拶(4月29日)

現場には、臭いがあり、空気があり、優先順位がある

——国会という政治の現場を離れて新たに

見えてきたということ

はございますか。

太田 ある距離感を持つことができたのはいいことかもしれません。水田町の中に自分の部屋があって、自分で出向かなくても人が訪ねてきてくれるし、疑問があれば役人に聞けばすぐに教えてくれます。はっと気がつく椅子

子を原告弁護士と基本合意することができたが、C型肝炎の方たちともずうっと人間付き合いをしてきた結果だと思えます。「太田のところ」に相談に行けば、何とかしてくれ

る人間でありたいですね。「大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいく」という党の精神のような人生でありたいと思います。

——都議会公明党の先生方の質問を聞いても、自分で現場を見たうえで、提案されています。現場に足を運んで、現場の声を聞くというのを大切にされているのですか。

太田 そうですね。バ

現場には、臭いがあり、空気があり、優先順位がある

——国会という政治の現場を離れて新たに

見えてきたということ

はございますか。

太田 ある距離感を持つことができたのはいいことかもしれません。水田町の中に自分の部屋があって、自分で出向かなくても人が訪ねてきてくれるし、疑問があれば役人に聞けばすぐに教えてくれます。はっと気がつく椅子

子を原告弁護士と基本合意することができたが、C型肝炎の方たちともずうっと人間付き合いをしてきた結果だと思えます。「太田のところ」に相談に行けば、何とかしてくれ

る人間でありたいですね。「大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいく」という党の精神のような人生でありたいと思います。

——都議会公明党の先生方の質問を聞いても、自分で現場を見たうえで、提案されています。現場に足を運んで、現場の声を聞くというのを大切にされているのですか。

太田 そうですね。バ

現場には、臭いがあり、空気があり、優先順位がある

——国会という政治の現場を離れて新たに

見えてきたということ

ッジを失って2年9ヶ月、特に現場の大切さを感じています。現場の悲鳴が国政に届いていない。国政の論議が現場とかけ離れている。かけ離れすぎているから不信感が生まれ、相手にされない。政治が見放されるという状況になっていると思います。組織でも上のほうは現場に弱くなりがちです。役人も現場に弱いんです。私は、政治家の役割は、現場の悲鳴や息遣いを政治全体として役人に注入することだと思つてます。新聞でいうと、凸版見出しと主見出しと袖見出しの3つをつけたい。あとは役人が手伝ってくれますよ。

派で協力して、必要とされているものをお届けしましたが6月28日にカツオが揚がったというニュースを見た時は嬉しかったですね。私はもともと現場主義で、「見学に行くんじゃない、助けに行くんだ、行ったら必ず仕事をしろ」と自分に言い聞かせていますから、私が行ったところ、歩いたところには、喜んでいただける結果が出ていたと思います。

——フットワーク軽く動けてよかったのではないですか。

太田 政治はフットワークだと思つています。パッジをつけていたとしても同じことをしたと思つていますし、パッジをつけていたらもっとできたこともあるかもしれないですね。

今年、震災直後に気仙沼市と女川町に行つた時に、両方の方から言われたのは、「くれぐれも東京で立派な人たちが、わが町の復興プランを作らないでください。現地にきて、週間泊り込んで、あそこをどうしようと思つて差しながら、一緒に考えてほしい」ということでした。

現場の声を聞いて、その人たちに代わって手を打つということが、政治では一番大事だと思つていますが、どうも

今の政権を見ていると東京の水田町で会議ばかりやっているように感じられます。

——被災地復興だけでなく、2年ほど前から円高とデフレ、政治の混乱、そしてこの1年の電力不足についても、現場の声が届いていないように感じます。

太田 まったくその通りですね。最近はその4つに加えて、電気料金の値上げ、ガソリンの高騰が悲鳴となっています。現場には、臭いがあり、空気があり、優先順位があると私は言うんですが、優先順位を間違えちゃいけない。民主党政権は、現場の優先順位や急所を何も分かんずくに、今はただ増税一直線。物事には見逃してはならない本質というものがあるのに、それもなんかボケていて、しかも責任を取らない。特に民主党は責任を取らな過ぎる。人事においても一度失敗して退いたのに違うところで生きています。私は、人事の回転ドア」と言っていますが、責任を取らない責任を取るといふ見事さというか、さすが政治家、身の振り方はしっかりしているというのが信頼獲得の第一歩だと思つていますがね。

友達は宝、人は宝

役人ともひとりの人間として付き合う

「話は変わりますが、政治家になろうと思われたのはいつ頃ですか。」

路を作ったり、技術が重要だと思おうようになり、土木工学科に進んだんです。

私が大学に入ったのは昭和39年、東京オリ

んは相模支部でしょ。う」と言われますが(笑)、ちゃんと土木工学科で耐震工学を学んでいるんですよ。

太田 親父が政治が好きで、NHKのラジオ討論会を幼稚園の頃から親父の膝の上で聞いていました。それで社会科が好きになって、

中学校時代には、政治家か新聞記者になろうと思っていました。

太田 実は、政治家になつてしばらくして阪神淡路大震災が起きたんです。以来、学校の耐震化をはじめとして、国がやってきた地震関係の仕事には全部絡んでいます。去年

と、時は高度成長の真っ只中。ダムを作ったり、橋を作ったり、道

橋が崩れたんです。これが日本で初めて問題になった液状化現象で、耐震ということにも興味を持ち、学部でも大学院でも耐震工学を専攻しました。「太田さ

らういペースがおありだったので、政治家になって首都直下地震の予測を受けて、地震対策をどうするかという考えをまとめて、先月官邸に提案したところです。

の東日本大震災、そして首都直下地震の予測を受けて、地震対策をどうするかという考えをまとめて、先月官邸に提案したところです。

ういうペースがおありだったので、政治家になって首都直下地震の予測を受けて、地震対策をどうするかという考えをまとめて、先月官邸に提案したところです。



福島県郡山市での除染作業を視察（3月10日）

と、時は高度成長の真っ只中。ダムを作ったり、橋を作ったり、道

橋が崩れたんです。これが日本で初めて問題になった液状化現象で、耐震ということにも興味を持ち、学部でも大学院でも耐震工学を専攻しました。「太田さ

らういペースがおありだったので、政治家になって首都直下地震の予測を受けて、地震対策をどうするかという考えをまとめて、先月官邸に提案したところです。

の東日本大震災、そして首都直下地震の予測を受けて、地震対策をどうするかという考えをまとめて、先月官邸に提案したところです。

ういうペースがおありだったので、政治家になって首都直下地震の予測を受けて、地震対策をどうするかという考えをまとめて、先月官邸に提案したところです。

鳥 瞰

関東大震災と後藤新平

首都直下地震に備えて改めて学ぶ

巨大地震が首都圏を襲うとの予知情報が出され、各方面でその備えが進められているが、こればかりは何が万全かとの答えは誰にも分からないだろう。

阪神淡路大震災以降、中越、新潟沖、東日本大震災と、記憶が消えないうちに次々と襲ってくる大地震に加えて、昨年の爆弾低気圧から、この冬の豪雪、それに起因すると

目から確実に救援が行われるかも分からない。業務として震災に係る方々にとつては、今こそ一朝事あるを期して、その後をどうして行くのかを考えておくことが大切だ。東日本大震災では、予測だになかった原発のメルトダウン

までの台湾総督府、満鉄総道路を計画した復興プランが、今日の経験を経て、はなかなかに理解が得られなかったが、その先見性には改めて驚かされる。都市機能の充実が図られる一方で、江戸時代からの街を変遷させてしまったと批判を受け、後藤の大風呂敷と擲筆され、そのプランは、時代に先

走り過ぎたのは事実だろうが、国を想い、百年の大計を訴えた後藤の足跡の中に、今日なお我々が学ぶべき点

おた あきひろ 1945（昭和20）年10月6日、愛知県生まれ。京都大学工学部大学院修士課程修了。71年、公明党議員秘書に入社（国会担当記者）。京大時代は相模支部長。93年に衆議院議員当選以来、衆議院予算委・商工委・建設委、議院運営委の各理事、教育改革国民会議オブザーバー、党憲法調査会会長、党総合選挙対策本部長、党幹事長代行、党国会対策委員長等を歴任。党前代表、現在、党全国代表者会議議長。東京第12総支部長（北区全域と足立区西部）、首都直下地震対策本部総本部長、現代中国研究会顧問ほか

撮影/木村 佳代子



おた あきひろ 1945（昭和20）年10月6日、愛知県生まれ。京都大学工学部大学院修士課程修了。71年、公明党議員秘書に入社（国会担当記者）。京大時代は相模支部長。93年に衆議院議員当選以来、衆議院予算委・商工委・建設委、議院運営委の各理事、教育改革国民会議オブザーバー、党憲法調査会会長、党総合選挙対策本部長、党幹事長代行、党国会対策委員長等を歴任。党前代表、現在、党全国代表者会議議長。東京第12総支部長（北区全域と足立区西部）、首都直下地震対策本部総本部長、現代中国研究会顧問ほか